



お礼と感謝の言葉

医療工学コース 教授 川添 薫

2007年に本学工学部電気電子工学科に医療電子コースとして開設された臨床工学技士育成コースは、現在10年の時が過ぎ、工学部医療工学コースとしてコース定員を上回る学生数を維持しており、卒業生の多くが医療系企業や臨床工学技士として病院施設に勤務し、医療関連業種で活躍するようになってきました。医療系人材の育成に教育者として関わることができて、大変嬉しく思っております。これも一重に、長崎総合科学大学を長年に渡り支えて頂いている理事会の皆様、学長をはじめ教職員の皆様のご努力と教育理念の賜物であると深く感謝しております。

さて、この度、教員授業数評価、学内貢献評価などを元に「学長賞」を賜ることとなり、本文にて私の生い立ちや、自らの学内教育業務を振り返り、更なる自助努力に役立てたいと書きとめる次第です。

私が18歳の頃、高校卒業期に大学進学が決まっていたのですが、父が経営する会社が倒産し、大学進学の学費が準備できず、大学の学費を溜める目的で2年間大阪の企業に勤め、人に言えない程の貧しい生活をしながら学費を溜めることに専念しました。その頃は、とても惨めで、何時もお腹がすき、カビの生えた食パンの耳だけが私の体を支える食べ物でした。

そのとき溜めたお金を元手に、医療分野の学校に入学し、その後、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻博士課程を修了し、医学博士となりました。博士になるまでとても長い道のりでした。その経験を生かして色々な問題を抱えた学生の立場に立ち、個々の指導や教育的貢献ができるようになったと思います。

現在、本学における臨床工学技士国家資格受験者の必須教科を主として担当しておりますが、教員自身が病院における臨床経験を必要とする教科内容や実技実習の取得単位が多く、医学概論系、臨床工学系、医用工学系、関係法規や卒業研究など幅広い分野での教育に携わる必要があることから授業数が多く、結果として、他の教員の皆様と比較し授業担当内容が多いものと分析しております。今後は、本コースの教育者バランスを踏まえ、若手の先生方に病院における臨床経験を十分に積んで頂き、医療施設で必要となる実践的な学問を身につけて頂けるようにサポートし、専任教育者の育成に貢献していきたいと考えております。学内貢献につきましては、保健センター長をはじめ、しょうがい学生委員会運営・衛生委員会運営など、本学のキャンパスライフに直接繋がる内容の運営を担当させて頂いておりますが、入学から卒業・就職までの長い期間で、教職員全ての方々が頑張っておられる中で、少しでもお役に立てるよう、本学の安全管理・健康管理を含めた支援を今後も心掛けていきたいと考えております。

終わりに、この度、学長賞を授与されるにあたり、これまで本コースを支えて頂きました教職員の皆様、一般教養の諸先生方、医療工学コースの先生方、医療担当事務・保健センター職員の皆様方に深く感謝申し上げます。

私の専門分野と教育指針

医療工学コース 教授 川添 薫

本学工学部工学科医療工学コースは、医学・臨床工学・医用工学を幅広く学び、臨床工学技士の資格を取得し、医療施設における医療機器の操作、保守管理を中心に貢献できる人材の育成を行っておりますが、入学時より医療系企業への就職を踏まえて医用工学を学びたい学生も多く入学するようになって来ました。国家資格取得だけでなく、医療機器系ライセンスを在籍中に取得することで医療に必要となる医療機器の流通と販売に関する業務を目指す学生も年々増えてきており、授業内容も、より実践的な内容を取り入れ、現在医療機器メーカーなどで活躍されている業者の方々も私の授業にお招きして、対話形式で授業を進めるなど、卒業後の進路に合わせた取り組みを行っております。

具体的な授業内容は、医学概論系（公衆衛生学・関係法規・医学概論・解剖学の一部）臨床工学・医用工学系（治療機器学・計測機器学と同実習、安全管理学一部、医療情報工学一部、放射線工学一部、臨床実習、卒業研究）などで、本コースの1年生から4年生までの授業に関わっております。

個人的には、医療機器の開発が主たる分野ではありますが、博士課程・修士課程の学生を育てながら、新規性の高い医療用処置具の開発を進めています。これまでに発明した医療器具は国内・ヨーロッパなど、医療現場で多用されるようになり、発明協会長崎県支部からは長崎県議会議長賞や大村市長賞等を授与されるなど、医療現場で考案して商品化を進めた医療器具が世界的に使用されるようになったことは、この分野で努力した結果として、私の人生の励みになっております。

本学の卒業生からも、今は医療現場に存在していない新規性の高い医療機器の開発を試みて頂けるように指導していきたいと考えております。



我が家の庭で医療機器開発ゼミ室のメンバーと食事会

(この庭は、家内と二人で作りました。学生様も食事会にいられています。)